

授業科目名	大学体育授業演習III
科目番号	0BVA004 / 02JD004
単位数	2.0単位
標準履修年次	2-3年次
時間割	筑波 鹿屋:通年、集中
担当教員	白木 仁, 本間 三和子, 長谷川 悦示, 高木 英樹, 鍋倉 賢治, 坂本 昭裕, 木内 敦詞
授業概要	曜日時限の固定された定時開講ではない、季節性の集中授業として開講される大学教養体育授業を演習の場とする。授業担当の経験を学びの出発点とした現実的な演習とするため、授業実践と自己省察の往還を詳細に記録し、ティーチング・ポートフォリオを作り上げる。授業の目標―内容―評価を関連づけながら、効果的・効率的・魅力的な教授法と自立的省察の効果的な循環を実践することができることを到達目標とする。授業場面の言動、省察記録、面談等から、自立的な省察力の獲得の程度を総合的に評価する。
備考	筑波大学開講
授業形態	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「マネージメント能力」に関連する。
授業の到達目標 (学修成果)	授業の目標―内容―評価を関連づけながら、効果的・効率的・魅力的な教授法と自立的省察の効果的な循環を実践することができる。 (1) 授業の目標―内容―評価を関連づけることができる。 (2) 自己の教育理念―方針―方法を整理し、関連づけることができる。 (3) ティーチング・ポートフォリオをまとめることができる。
キーワード	ティーチング・ポートフォリオ, 教育理念―方針―方法, 授業目的―方法―内容―評価,
授業計画	1. 授業設計の理解 2. ティーチング・ポートフォリオの理解 3. 「基本情報」の作成 4. 「作成の目的」の作成 5. 「教育の責任(教育活動)」の作成 6. 「改善・努力」の作成 7. 「成果・評価」の作成 8. 自己紹介とチャートの共有 9. 「方法」の作成 10. 「方針」の作成 11. 「理念」の作成 12. 「理念に関する個人エピソード」の作成 13. 「理念」「方針・方法」の対応づけ 14. 対応づけの共有と対話 15. 共有の気づきに基づく修正 16. 「エビデンス」の作成 17. 「エビデンス」の共有 18. 「目標」の作成 19. 「作成の感想」の作成 20. 「目標」「感想」の共有
履修条件	大学体育授業演習Ⅰを履修していることが望ましい。
成績評価方法	自立的な省察力の獲得の程度を、授業場面、省察記録、面談等から40%, レポートから60%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業後毎回宿題を課すので、次回に小レポートとして提出すること 下欄に挙げる文献を読むことが望ましい。
教材・参考文献・配布資料等	『教師のためのなりたい教師になれる本』 栗田佳代子ほか編著、学陽書房、2018
オフィスアワー	重複を避けるため、事前に連絡を取ることが望ましい。kiuchi.atsushi.fw@u.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	全国大学体育連合によるFD研修会や研究フォーラムへ参加するなど、大学体育教員としての継続的な研鑽を望む。
他の授業科目との関連	大学体育授業演習Ⅰを履修していることが望ましい。